

2025 年(令和7年) 4月1日



第 234 号

桜の湖音楽フェス 2025 in 月の市を開催します

日 時：4月6日(日) 9時30分～16時
 場 所：桜の湖野外ステージ ほか
 問合せ先：やさか観光協会 ☎75-4444

音楽を中心としたフェスティバルを開催します。

フォークソング、バンド、コーラス、和太鼓、ダンスなど
 多彩なステージイベントのほか、キッチンカーなどが出店します。

桜の湖で春の一日を
 お楽しみください。



3月号2ページ
 「桜の湖畔さくらの開花予想」
 お詫びして訂正いたします。

(誤) 4月6日(土)



(正) 4月6日(日)

公民館ロビーで〈ひな人形展示〉開催中



3月3日(月)から、坂下公民館1階ロビーにひな人形が飾られています。
 坂下文化財保存会の皆さんによるひな人形の展示で、今年で2回目になります。
 桜蔵で保管されている昔ながらの土雛をはじめ、糸魚川尚子さん(旭町)から寄
 贈された段飾りや、山内尚子さん(上野)、久米恵美子さん(大門)が作られた
 つるし飾りなどが飾られ、訪れた人を楽しませています。



展示期間は
 4月3日(木)まで。

ぜひご来館ください。

「親子で味噌作り」講座

2月11日（火・祝）と24日（月・祝）、「親子で味噌作り」の講座が坂下公民館で行われました。

11日は小学生親子、24日は園児親子が、各4組参加しました。

この講座は、「できることからSDGs」の2月の講座として、中津川市の「こうじキッチンこぎちゃん」店主の^{こぎそよしこ}小木曾淑子さんを講師にお招きしました。また、中津川市青少年健全育成推進市民会議坂下支部との共催で行われ、材料代の一部も補助がありました。

参加した子どもたちは興味津々で、講師から説明を受けながら楽しんで味噌作りをしました。10月には食べられるようになるということで、みなさんそれを楽しみに、タッパーに入れた味噌を大事に持ち帰りました。



ほほえみ教室 ～親子の思い出～



3月6日（木）、ほほえみ教室で記念品作りを行いました。

子どもの手形や足形、写真、家族からのメッセージなど、今の子ども様を残す記念の品です。

同じテーブルの学級生同士でおしゃべりしたり、親子で作業したりしながら、それぞれ思い出のつまった色紙ができました。

子どもが大きくなっても、一緒に楽しく見返すことができそうです。

坂下公民館では令和7年度の学級生を募集します。

対象の方には案内をお送りしますので、ぜひお申込みください。

「おはなしの会」に遊びに来ませんか？

坂下公民館では5月から3月まで月1回「おはなしの会」を予定しています。絵本の読み聞かせや手遊び、簡単な工作などを楽しむ会です。

主に金曜日の午前中に行いますが、年2回土曜日に開催しています。くわしくは市の「子育てカレンダー」、坂下公民館の掲示をご覧ください。また、「広報やさか」の放送でもご案内します。

どなたでも無料で参加でき、予約も必要ありません。

お気軽にご参加ください。



区長会通信

日頃は、区長会活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。
さて、令和6年度は、主に下記の2項目について取り組んできました。

1. 坂下地区の活性化を図るため、きりら坂下を拠点とした『柊の湖音楽フェス』『与三郎まつり』『柊の湖そばの花まつり』『やさかふるさと花火大会』などのイベントを各実行委員会が中心となり、やさか月の市実行委員会と共に区長会、まちづくり協議会や関係団体と連携し、坂下地区の活性化に取り組んできました。
その結果、坂下地区内外から多くの人たちが訪れ、賑わい創出の成果が徐々に始まってきた年でした。
2. 坂下診療所の民営化について、この一年間、市への要望活動、市民と市長の対話集会（令和6年度4月25日開催）などをおこなってきましたが、目立った成果を得ることができませんでした。引き続き要望をしていきます。

令和7年度も引き続き、区長会及びまちづくり協議会、社会福祉協議会、やさか観光協会のほか、関係団体と連携を図り、更なる推進活動を実施していきます。

皆さんのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

郷土文化財紹介

郷土文化財保存会会員 はやかわひでお 早川英雄

＜坂下の用水物語 1 2 千石の村坂下＞

令和6年度を通し〈用水物語〉を掲載させていただきました。私の勉強不足でご紹介できなかった用水もいくつか残してしまいましたし、ご紹介できたものも大変稚拙な物語でご迷惑をお掛けし、ご不興を買ってしまったのではと恥じ入っています。お詫び申し上げ、〈用水物語〉の最終とさせていただきます。

用水開発が進むにつれ坂下村は、苗木藩では「千石の村坂下」と言われるようになっていました。『苗木藩政史研究』に苗木藩の米価は坂下村の蔵米値段を参考して決められたとありますし、『ざつがきあらまし雑書荒増記』には、「遠山家の御前米並びにうるちまい粳米は坂下村より御城蔵へ相納む」とか、「徳川公へ献上の氷餅米同村より同所へ納む」などと記されます。このような記述から苗木藩内で重要な村の1つと見なされるようになっていたのでしょう。

ところで、開発高が増えると藩が潤いますが農民にはその分税金が増えます。苗木藩政史研究で見ると苗木藩主3代友貞(1642～1675年)の頃までに坂下村開発高は655石程になります。坂下村の拝領高(当初の石高)は972石程ですので合わせて1627石程になります。税は5公5民ですのでその半分800石程が徴収されるわけです。実際には3割程減税され550石程を納めたようです。坂下村には1000石余が残ることになります。「千石の村坂下」と言われた理由でしょう。すごく裕福に感じられる表現ですが、農民の生活は大変苦しいものであったと思います。1600余石の石高と550石程の税は固定されますが、毎年の農作物の収穫は天候や病虫害により大きく影響を受けたであろうし、何代か経つうちに1戸あたりの作付面積が小さくなったり、病気の蔓延で作付けできなかったりと天災人災が影響して、1600余石の収穫があったことはなかったと思います。だが、固定された550余石の税は容赦なく取り立てられました。



『平成16年版町史』農民からの嘆願書の項には、借財や定納米(税金)で苦しんでいる状況が多く記されています。

嘆願書	町組 民平
一、米六石三斗三升八合三勺	宝暦四年
内 五石一斗三升八合三勺	米納
残り一石二斗民平は地主が折々替わり難儀しております	とりわけ生活にこまっております
ので上納できません	

民平さんは小作農であったのでしょうか。地主が折々代わりとありますので、毎年少しずつの田畑をあちこちから借り受けて作物を作っていたのでしょうか。借りたり返したり耕作面積が変わり定められた5石3斗もの税金を払うのはたいへんなことであったと思われます。

お盆の時期に元禄時代頃から歌い踊り継がれてきた「音頭与三郎」の歌詞の1つに、

殿さとうしん百姓は油

しぼり取られる 殿様へ

とあります。殿様への不満でしょうが、音頭取りがそのときそのときにふと思いつくままに歌われた100を超える歌詞の中にそっと忍び込ませています。

ところで「千石の村坂下」のその後はどうなっていくのでしょうか。粗々に綴ってみます。明治の時代となり大きく変わったことの1つは税金の納め方にあります。一家族ずつが単位で物納から現金払いとなりました。米があれば何とかなった時代から、現金がなければ何ともならない時代となりました。現金を手に入れる方法をそれぞれで考えなければなりません。養蚕が大変盛んになります。蚕を飼ひ繭にして製糸業者に売り現金を手にすることができました。米を作るために切り開かれた田畑は桑畑に変わってゆきます。いつしか坂下では米の生産量より繭の生産量が多くなりました。製糸業も大変盛んになります。とにかく儲かり新しい家がどんどん建てられ町並みが変わって行きました。



毎月第3日曜日は「家庭の日」 中津川市青少年健全育成推進市民会議

4月20日 ほんとなかよし おともだち 【23日は子ども読書の日】

坂下高校 賢・剛・優

卒業証書授与式

3月1日(土)、第22回卒業証書授与式が、本校体育館で行われました。

1年生・2年生・保護者が見守る中、厳かに式が進みました。学校長は式辞の中で「上手いかわなくて挫折しても、最終的に立ち上がっていることが大切」と述べ、生徒会長の伴様名さんは送辞の中で『地域探究科』『福祉科』各科の先輩への想いを伝えました。また、答辞では卒業生代表の原優人さんが、3年間の思い出と周りの人々への感謝の気持ちを一言一言に想いを込めて述べてくれました。『地域探究科』の卒業生は、第一期生です。坂下高校で学んだことを糧として、将来地域で活躍してくれることを期待しています。地域探究科32名、福祉科5名、計37名がそれぞれの道、それぞれの未来に向かって歩き始めました。



坂下中学校 超升先輩

継承・感謝の会

2月21日(金)の5・6時間目、『継承・感謝の会』を行いました。継承の部では、3年生が1・2年生に自分が大切にしてきた想いを自分の言葉で伝えきりました。そこには、「仲間がいたからこそ今の自分がある」「仲間がいたからこそ、困難を乗り越えることができた」そういった言葉が多く、3年生から語られました。仲間とともに過ごすことができる「学校で学ぶ良さ」が伝わってきました。感謝の部では1・2年生が学校をリードしてきた3年生のすごいところを、クイズを交えながら紹介し、伝統を引き継ぐ決意を3年生に言葉と合唱で伝えました。伝統を受け継いだ1・2年生の今後のさらなる飛躍が楽しみです。



坂下小学校 ひとりだち

大縄大会



2月21日(金)に大縄大会が行われました。一年を通して遊んできた、1年生から6年生の異学年同士で組んだグループで『8の字跳び』の練習をしてきました。

中には縄になかなか入れなかったり、引っかかってしまったりする子もいました。それでも、「がんばれ」「大丈夫」と励まし合ったり、縄をゆっくり回してあげたりするなど、グループの仲間と協力しながら記録を重ねていきました。

みんなで跳べた数を数えて、記録が生まれた時には、お互いに喜び合って健闘を称えていました。1年間、遊びの中で様々なことを学ぶことができた活動になりました。

やさかこども園 かがやく瞳

親子で観劇

今年度最後の参観と、『親子で観劇』を行いました。保護者の皆さんも園での子ども様を見られることを楽しみに来てくれました。各クラスで朝の会をして、歌を聞いてもらい、3歳児は触れ合いゲーム、4歳児はこままわし、5歳児は命の教育の取り組みの一環として、自分が生まれた時の重さの『赤ちゃん人形』を親子で作りました。未満児は、朝の活動の様子を見てもらいました。どの学年も、春の参観日と比べて成長した姿を見てもらうことができました。参観後は、親子で一緒に劇団はなの木さんによる『恋するリボンちゃん』とかなり jazzý な夜 PART3』の劇を楽しみました。卒園前の良い思い出になりました。



《3月の主な行事》 お詫びして訂正いたします。

(誤) 3月22日(土) 坂下小学校卒業式 → (正) 3月24日(月) 坂下小学校卒業式

《4月の主な行事》

日曜日	曜日	行事名	時間	場所
4	金	やさか地区観光安全祈願祭	10:00~	栂の湖
		臨時区長会	13:30~	坂下総合事務所第2庁舎
6	日	栂の湖音楽フェス 2025 in 月の市	9:30~	栂の湖野外ステージ ほか
7	月	やさかこども園 入園式	10:00~	やさかこども園 遊戯室
		坂下中学校入学式	9:00~	坂下総合体育館2階体操場
		坂下高校入学式	13:30~	坂下高校体育館
		坂下小学校入学式	13:50~	坂下小学校体育館
11	金	区長・自治会長合同会議	19:00~	坂下総合事務所第2庁舎
16	水	いきいき元気教室	13:30~	坂下公民館
		行政・人権相談	13:00~15:00	坂下総合事務所第2庁舎
		やさか地区農業委員会	9:00~	坂下総合事務所
25	金	農地相談	9:30~	坂下総合事務所
		定例区長会	13:00~	坂下総合事務所第2庁舎

編集発行	中津川市 坂下総合事務所
電話	0573-75-2111
FAX	0573-75-4704
Mail	sakashita-office@city.nakatsugawa.lg.jp

慶弔のお知らせ

2月11日から3月10日の
坂下総合事務所への届出分
(敬称略)

●ご逝去

原 仁	95歳	大門
安江 美枝	100歳	上外
天久 加奈恵	77歳	上鐘一

人口と世帯数(令和7年3月1日現在)

人口	3,941人(前月比2人減)
	男1,910人、女2,031人
世帯数	1,624世帯(前月比3世帯減)

ごみの収集日

燃えるごみ	毎週月・木曜日
燃えないごみ	4月2日(水)
資源・硬質ごみ	4月9日(水)
大型ごみ	4月18日(金)
有害ごみ	4月23日(水)